

平成29年度 遠野緑峰ニュース

No.55

1/19 県高校ユネスコ研究大会に参加しました。

岩手山青少年の家で開催された第14回県高校ユネスコ研究大会に、本校の2A 五日市斗甲さん、2A 山蔭仁哉さん、1A 太田愛蘭さん、1A 菊池佳純さん、1A 千田杏奈さんが参加し、世界平和と持続可能な発展について活発に意見を交換してきました。



貧困をテーマにした分科会で意見を出し合う高校生

平和への学び深める

県高校ユネスコ研究大会

滝沢で開幕

第14回県高校ユネスコ研究大会（県高文連国際理解専門部、県ユネスコ協会連盟主催）は19日、滝沢市後の国立岩手山青少年交流の家で開幕した。20日まで、高校生が意見交換などを通じて、平和と持続可能な未来のための学びを深める。

県内25校の1、2年生101人が参加。一戸町の御所野縄文博物館の菅野紀子学芸員の講演の後、▽貧困▽メディアリテラシー▽異文化理解▽信仰の4分科会で現状や課題を学び、意見を出し合った。

貧困の分科会では、国内の身近な問題をテーマに貧困がもたらす悪影響などを考え、解決のためにどんな取り組みができるかを積極的に話し合った。盛岡中央高1年の遠藤葵さんは「一人の意見に触れ、さまざまな考えを知れた。フードバンク活動に協力してみたい」と意欲を高めていた。

岩手日報 平成30年1月22日付け朝刊 著作物使用許諾済み